



機関紙ハートフル

(機関紙ハートフルタイトルロゴ：「機関紙ハートフル WE

ARE HEARTFUL」1文字ずつ赤、黄、桃、水、黄緑と色が違う) 第32号

事業団理念 ともに生きる心を育み ともに歩む社会の実現

発行：社会福祉法人大阪府障害者福祉事業団 茨木市立障害福祉センターハートフル

〒567-0819 茨木市片桐町4番26号 TEL 072-620-9818 FAX 072-620-9812

発行責任者：所長 原稔 令和4年5月1日

ごあいさつ

新しい年度が始まりました。今年は、例年に比べて、桜の花が長く楽しめたような気がします。私事、4月の始まりはいつも慌ただしく、ソメイヨシノ盛期を見逃します。落ち着いた中旬頃に、八重や遅桜を求めて仁和寺へ。花が低くても人が多く「お多福桜」が満開となり、今年度も頑張ろうという気持ちにさせてくれる来京が、恒例の楽しみでした。

しかし、今年のソメイヨシノは、流行り病の心配や憂鬱を癒してくれるためなのか、落花までをとても長く楽しませてくれました。ハートフルの2階からの景色は、とても優雅で素晴らしいものです。

毎年変わらぬ期待に応え、柔軟な変化で何事にも対応できる、そんなサービスを提供できるように努力していきますので、みなさまのご協力を引き続きお願い申し上げます。

年度末に、会議室の椅子や机が全て新しくなり、また大会議室の映像・音響機械も更新されました。使い勝手の良い設備で、みなさまの活動がスムーズに進められ、広く市民に喜ばれる施設でありたいと願っています。今後ともどうぞよろしくお願いたします。ハートフル所長 原 稔



(写真：地域活動支援センターII型訓練室から見える満開の桜。)

【新任職員紹介】

東谷裕樹（生活介護支援員）昨年度まで、富田林市にあります「大阪府立こんごう福祉センターすぎのき寮」に勤務し、知的障がいのある児童の支援に携わりました。そこで学んだ多様な利用者のニーズに応じた関わりを、ハートフルでの支援に活かしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。



(写真：東谷裕樹支援員)

和田鈴江（生活介護支援員）私は、長い間、看護補助として勤めました。ハートフルに入職する前の4年間位はデイサービスで働いていました。介護の仕事経験は長いですが、障がいのある方の支援は初めてです。今までの経験を活かしつつ、利用者の役に立てるように頑張りますので、よろしくお願いします。



（写真：和田鈴江支援員）

【退職者】 上田剛士（地域活動支援センターⅡ型支援員）、山田大雅（生活介護支援員）、カオ・ティ・ラン（生活介護支援員）の3名が退職しました。

【茨木市福祉部 北川部長が退任されました】

ハートフル所管課の茨木市福祉部で、長きにわたり茨木市の地域福祉の充実や、ハートフルのためにもたくさんの協力をいただきました。写真は、窓いっぱい広がる満点の桜を背景に記念の1枚です。本当にありがとうございました。



（写真左：向かって左側に車椅子に乗った女性利用者、右側に北川部長が立ち、握手を交わしている様子。写真右：桜の花を背景に北川部長退任のあいさつ

障害のある人もない人ももっとハートフルに

（イラスト：障害のある人もない人ももっとハートフル

に。1文字ずつ桃、黄緑、赤、黄、水…と色が違う）

機関紙「ハートフル」第32号 ここまで。